

## 第 1 回 岐阜支部評議会の概要報告

開 催 日 時	令和元年 6 月 13 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 40
開 催 場 所	濃飛ニッセイビル地下 1 階 会議室
出 席 評 議 員	梅津評議員(議長)、中山評議員、山岡評議員、瀬古評議員、森川評議員、北川評議員、佐伯評議員
議 題	(1) 平成 30 年度岐阜支部事業実施状況報告について【資料 1】 (2) 岐阜支部調査研究事業および SNS を活用した広報事業について (経過報告)【資料 2】 (3) 支部別スコアリングレポートからみる支部の課題と対策について【資料 3】
議 事 概 要	<p><b>議事 1. 平成 30 年度岐阜支部事業実施状況報告について</b> 事務局より【資料 1】に沿って説明を行った。</p> <p><b>【主な意見等】</b></p> <p>(被保険者代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 債権回収で、高額案件 1 件が回収できないために K P I が未達成になることが想定されるが、返納金債権について、「高額案件」「外国人案件」等の分類別での K P I 設定という考え方はないのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部で決めた項目で、分類別の分けはない。この指標は昨年作られたものであり、どういう指標の決め方が良いのかは今後の課題の一つと認識している。また、岐阜は外国人労働者の割合が比較的高く、回収という面では少し不利な点はある。</li> </ul> <p>(被保険者代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人技能実習生については、民間の保険に加入することとなっているが、保険会社との情報交換等は行われているのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報交換は行っていないが、何らかのノウハウが得られるかもしれないので参考にさせていただく。</li> </ul> <p>(事業主代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入管法の改正がされ、人手不足に対して外国人が大幅に増えることになるので、今後は受皿とケアが重要になってくると思う。</li> </ul> <p>(被保険者代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療構想調整会議の議論が進んでいないようだが、年に何回開催されているのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度は各圏域で 4 回ずつ開催され、今年度も 4 回の開催が予定されている。</li> </ul> <p>(学識経験者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所カルテ提供について、事業所の反応はいかがか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送付した後の反応はほとんどなかったが、訪問により事業所カルテをお渡ししていくと、興味をもっていただけるが多かった。</li> </ul>

(学識経験者)

- ・訪問時に渡すデータにしても、職種別で分析して提案する等、相手方が欲しい情報を提示すれば受け入れられやすく効果的ではないか。

(被保険者代表)

- ・ジェネリック医薬品使用割合について、K P Iは達成しているものの全国平均を下回っている。インセンティブ制度のことも考えたとき、今年度のK P Iはどのような考え方で設定されているのか。

(事務局)

- ・国として令和2年9月までに80%とすることが目標とされており、岐阜支部は平均を下回っているが、支部単独で80%に到達できるよう按分したK P Iとなっている。

(事業主代表)

- ・健診結果の数値が悪ければどうなるのか、何に気をつければ良いのか等、もっと具体的に目に見える資料があると良い。

(事務局)

- ・個別ではあるが、特定保健指導という形でパンフレット等を提示しながらお話をさせていただいている。ただし、特定保健指導の受け入れが難しいとおっしゃられる事業所が多いのが課題としてある。

(事業主代表)

- ・受け入れには様々な制約があると思うが、経営者の啓蒙も必要である。

(被保険者代表)

- ・特定保健指導について、事業主・事業所の協力を得るのが難しければ、一般用の特定保健指導窓口をショッピングセンター等に設けたらどうか。

(事務局)

- ・すでに一部の支部では支部窓口等で実施したこともあるが、十分な結果は得られなかったと聞いている。

(学識経験者)

- ・やはり自主的に特定保健指導を受けようとする方は少ないように思う。実際に受けた方々の声、成功体験をもっと対象者に伝えるのも大切ではないか。

## **議事 2. 岐阜支部調査研究事業およびSNSを活用した広報事業について (経過報告)**

事務局より【資料2】に沿って説明を行った。

### **【主な意見等】**

(学識経験者)

- ・事業所の選定や健診時の測定等、全体としてはどの段階にあるのか。また、データの比較は来年度の健診終了後となるのか。

(事務局)

- ・今年度からの調査分析事業であり、事業所選定はすでに完了している。現在は健診を受けている方の尿中塩分測定が始まっており、集団学習等も並行して進めていく。データについては、来年度分の測定も出揃ってからの分析となる。

(被保険者代表)

- ・フェイスブックで採用されたのは4カ国語だが、ベトナムやミャンマーの方も増えているため、今後は対象言語も増やしてもらいたい。

(事務局)

- ・紙媒体では一部ベトナム語対応のものもある。今後、外国人に対するPRについて、媒体や言語などの選定は大きなテーマだと認識しており、引き続き取り組んでいく。

(被保険者代表)

- ・外国人の方だと、英語はある程度理解できても、健康保険制度の内容は母国語でないと理解は難しいのではないかと思う。まずは簡単なところを説明し、理解ができれば次の段階で網羅的な内容で作成してもらえると、会社側としても説明しやすい。

(事務局)

- ・外国人が増えていく中で、一支部のみで実施するにはハードルが高いという認識を協会として持っており、いずれ本部が対応せざるを得ないのではないかと考えている。

### 議事3. 支部別スコアリングレポートからみる支部の課題と対策について

事務局より【資料3】に沿って説明を行った。

#### 【主な意見等】

(被保険者代表)

- ・以前は自分と配偶者が一緒に生活習慣病予防健診を受診できたが、今は別々で行かなければならない。夫婦で一緒に健診に行けるなら、手間もかからず受診率が上がるのではないか。

(事務局)

- ・協会設立前はそのような仕組みであったが、法律改正により現在のメニューとなった。

(事業主代表)

- ・被扶養者の方はパート先の会社で健診を受けられるようにしたらどうか。また、特定健診の案内を送る際に、成功体験を載せたチラシを同封してはどうか。

(被保険者代表)

- ・被扶養者がパート先で健診を受けた場合も受診率に反映するのか。また、自治体で行っている健診にしても、一括で受診できる仕組みにはならないのか。

(事務局)

- ・パート先での健診データを取得できれば受診率に反映させることができる。自治体のがん検診と特定健診を同時受診できる自治体は増えているが、大規模自治体は巡回型の健診ではなく医療機関へ委託した健診であるため、同時実施に至っていないところが多い。

(学識経験者)

- ・健診に行つて得をすること、損をすることを伝えれば、行くきっかけになると思う。ただ、急に受診率が上がるものではないので、地道に取り組んでいくしかない。

(事業主代表)

- ・集団健診による受診機会拡大とあるが、具体的にどこでやっているのか。

(事務局)

- ・ショッピングセンターや公民館等、いろいろな会場を設定している。

(事業主代表)

- ・受診率が高い支部はどのような取組みをしているのか。

(事務局)

- ・いろいろな特典を付けている支部もあり、無料のオプション健診のように、女性を

意識した項目を追加して実施している。

(学識経験者)

- ・積極的に健診を受けたい方は一握りだと思う。疾病の段階別にかかる費用を具体的に加入者へ見せると、現実味があって健診受診に繋がるのではないかと。

特 記 事 項

- ・次回開催は令和元年7月18日(木)